

報道関係各位

## 家庭菜園に関するアンケート調査結果のご報告 —家庭菜園を続ける方の増加—

生活用品製造卸のアイリスオーヤマ株式会社（本社：仙台市、代表取締役社長：大山健太郎）は、情報サイト“アイリス家庭菜園ドットコム”※でサイト会員を対象に家庭菜園に関するアンケート調査をおこないました。

### 【家庭菜園に関するアンケート結果】

#### ■家庭菜園に興味を持つ男性の増加

性別の構成比では昨年も男性が41%と多い数値でしたが、今年は女性を上回る53.3%という結果になりました。年代を見ると60代以上の昨年比べて約3%の増加で、団塊の世代が退職したこと、そして昨年からは家庭菜園をしている方を見て楽しそうだから自分もやってみようとする方が増えていることが要因と考えられます。また、女性に比べて野菜づくりの知識が少ない男性は“アイリス家庭菜園ドットコム”のような情報が集約しているサイトを見て勉強していることも男性が増えた要因の一つと言えるでしょう。

#### ■家族や近所とのコミュニケーションに役立ったと感じる方の増加

子どもや昔野菜作りをしていた祖父母などとのコミュニケーションに役立ったという回答が多くありました。子どもにはその野菜の旬な時期、成長過程などを一緒に見たり感じることができるので勉強にもなります。また、近所の方とも家庭菜園について情報を教えあったり声をかけたりといった機会も増え、楽しみが増えると感じる方もいるようでした。核家族化が進み家族のコミュニケーションが不足していると言われる中で、家庭菜園はコミュニケーションツールの一つとして一役買っていると言えます。

#### ■また家庭菜園をやりたいと思う方が約99%

野菜の成長する過程や実った時の収穫が楽しかったのでまたやりたいという方、失敗したけど来年また挑戦したいという方が約99%もいました。

今年は“食の安全”と不況の影響による“巣ごもり消費”が連動し家庭菜園に関連する商品が大きく伸びましたが、この結果を見ると来年もまたゴールデンウィークの時期を中心にプランターや肥料などの家庭菜園市場が伸びていくと予想されます。次に育てる時は、前年よりも野菜の種類を増やしたり植える種や苗の量を増やす傾向がありますので、当社ではさらに安心して楽しみながら育てられるような商品開発を目指し家庭菜園を推進していきます。

# NEWS RELEASE

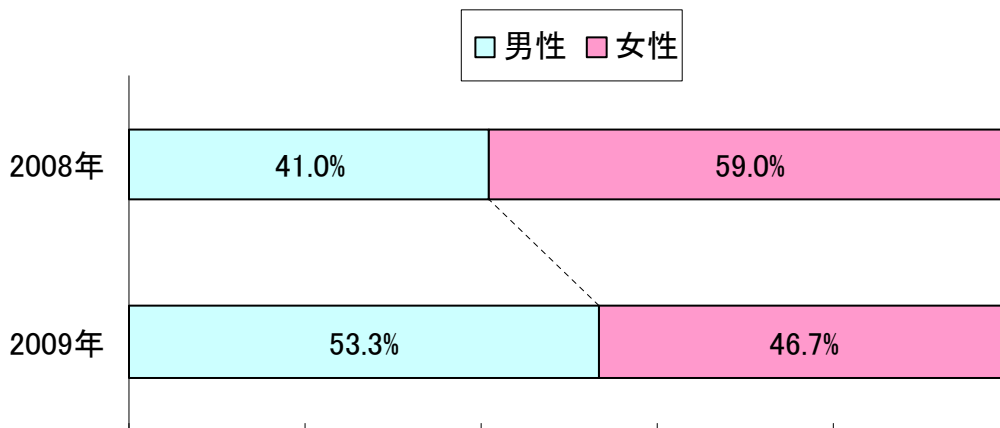
## 【参考資料】

### ■家庭菜園に関するアンケート概要

	実施期間	回答者数	対象
2008年	6/2～7/7	1,462名	アイリス家庭菜園ドットコム会員
2009年	7/30～8/31	2,162名	

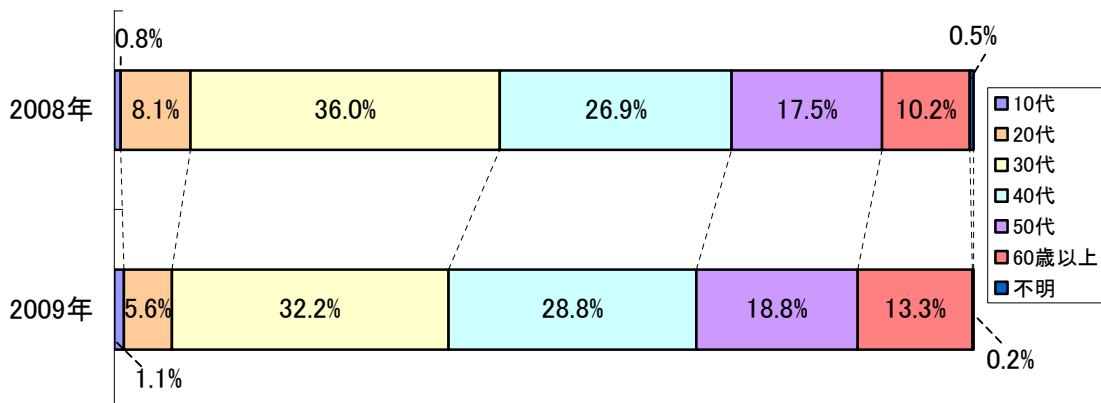
※アイリス家庭菜園ドットコム…家庭で作れる野菜の情報や育て方、実際に育てている様子を紹介する情報サイト  
 URL : <http://www.iris-saien.com/>

## I. 性別



これまでは女性が半数以上占めていましたが、今年は男性の方が多い結果になりました。また、女性に比べて知識が少ないため情報サイトで野菜づくりの勉強をしていることから男性が増える要因になったことも考えられます。

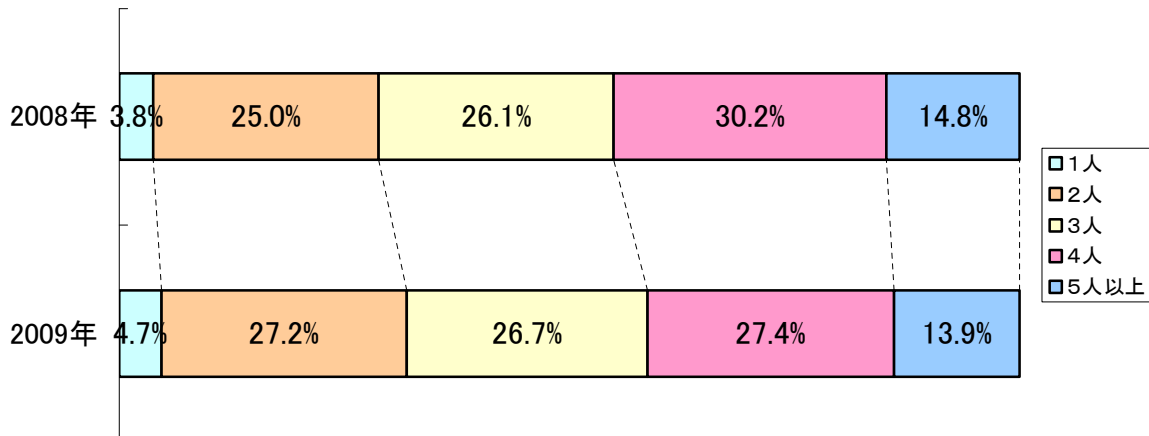
## II. 年代



40～60代の世代が昨年に比べて増加しています。60代以上の方は第二の人生の楽しみとして家庭菜園を始められる方も多いため約3%の増につながったと言えます。

# NEWS RELEASE

## Ⅲ. 家族構成



昨年に比べ今年は4人・5人以上世帯が減る一方で2人・3人世帯が増えています。4人、5人以上世帯の減少は少子高齢化などの影響とも考えられますが、小さな子どもに安全な野菜を食べさせようとして家庭菜園をおこなっている方、子どもが一人立ちをしたり定年後の夫婦の趣味として始められている方の増加が背景にあると考えられます。

## Ⅳ. 家庭菜園を始めたきっかけについて

2009	昨年比	家庭菜園を始めたきっかけ	2008 順位
1	—	収穫する楽しみを味わいたかったから	1
2	—	新鮮な野菜を食べたかったから	2
3	—	育てるのが好きだから	3
4	—	安全な野菜を食べたかったから	4
5	—	畑(家庭菜園できる)スペースがあったから	5
6	—	おいしい野菜を食べたかったから	6
7	—	必要な時にすぐ収穫できるから	7
8	—	買うよりも安いと思ったから	8
9	—	少しだけ欲しい野菜を収穫したいから	9
10	—	子供の教育のため	10
11	—	退職して時間に余裕ができたから	11
12		その他	

「収穫する楽しみを味わいたかったから」が昨年に引き続き1位でした。昨年からは家庭菜園をされる方が増えていますが、その様子を見た人が楽しそうと思って始める連鎖反応も起きていると考えられます。Ⅲの家族構成を見ても自分だけでなく家族に安心してご飯を食べさせたいのをきっかけに始められる方も多いようです。また、昨年と比べ退職後時間に余裕ができて始める方も微増しています。

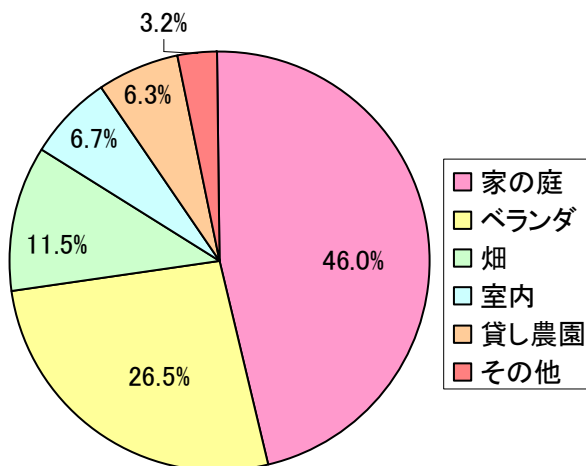
## NEWS RELEASE

### V. 家庭菜園をしていて良かったと思うこと

2009	昨年比	家庭菜園をしていて良かったこと	2008 順位
1	—	育てる喜びを知ることができた	1
2	↑	<b>安全な野菜を食べることができた</b>	3
3	↓	趣味が持てた	2
4	↑	<b>家族のコミュニケーションになった</b>	5
5	↓	普段見られない野菜の花などを見ることができた	4
6	—	野菜本来の味を知ることができた	6
7	↑	<b>野菜を買う量が減った</b>	8
8	↓	食べ物を大切にできるようになった	7
9	—	仲間や友達が増えた	9
10	—	子供(家族)の野菜嫌いが治った	10
11		その他	

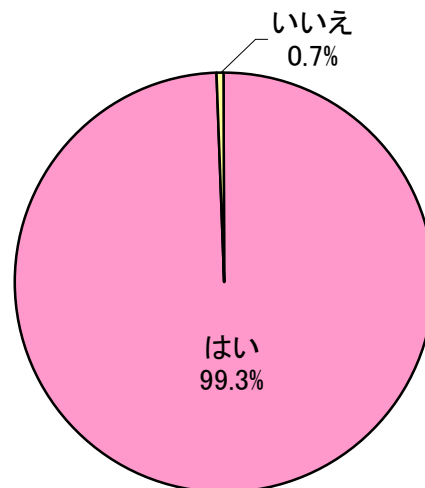
「安全な野菜を食べることができた」がワンランク上がりました。昨年から食の安全が言われ野菜を育てる方が増えていましたが、その傾向は変わらないようです。また、核家族化が進みコミュニケーション不足と言われていますが、野菜を育てることで話題が増えたり協力しながら育てたりとコミュニケーションの一つとしても家庭菜園は一役買っていると言えます。

### VI. 野菜を育てた場所について



ほとんどの方が家の庭やベランダを利用しています。また、貸し農園なども利用されている方もいますが、「今後栽培したい場所」の質問では約8割の方が家の庭とベランダを希望しており、実際に他の場所でやってみたけれど家で気軽にできる方が良いと考える方が増えているようです。

### VII. また家庭菜園をやりたいですか



野菜を育ててみて収穫する喜びや成長する過程を見る楽しさなどを経験された方、そして失敗したけれどまた再挑戦したいという方がほとんどでした。一度育てた方は野菜の種類や量を増やしたりする傾向があるので、今後も家庭菜園市場は伸びることが予想されます。